



⑥サマー世田谷ふるさと区民まつり●上用賀2-1(馬事公苑)●バス農大前下車
夏の緑を背に真赤なカンナの花が咲く8月初旬、馬事公苑を舞台に「ふるさと区民まつり」が開かれる。郷土芸能、ミニSL、おみこし、盆踊りや阿波踊りに馬の曲芸や試乗も加わり、大変な人気を呼ぶ。植木市や数えきれないほどの出店もたち並んで世田谷の一大夏の風物詩となった。



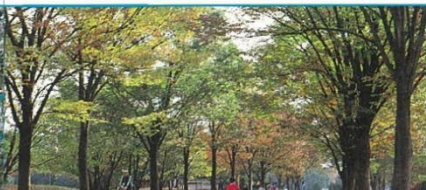
⑦馬事公苑界わい●上用賀2-1●バス農大前下車
東京オリンピックの馬術競技の会場になったことで有名。背の高いケヤキ並木をくぐって入る苑内は広大で、多くの樹木や草花が季節をいろどる。雑木林を散策するとかつての武蔵野の姿が思い浮ぶ。ケヤキ並木の道は広場として整備され、また一つ魅力を加えた。



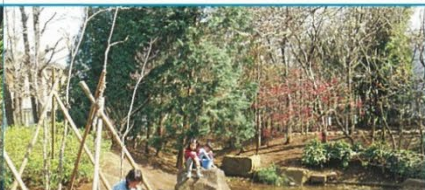
⑧用賀観音の無量寺●用賀4-20-1●新玉川線用賀駅下車
境内に一際高く大イチョウが茂る。用賀観音と呼ばれるのは十一面観音像で、品川の浜で漁師の網にかかったのがここに祀られるようになったという。かつては観音講が組織され賑わったが、今は静かな境内だ。昼下り近くの小学校のチャイムがのどかに響く。



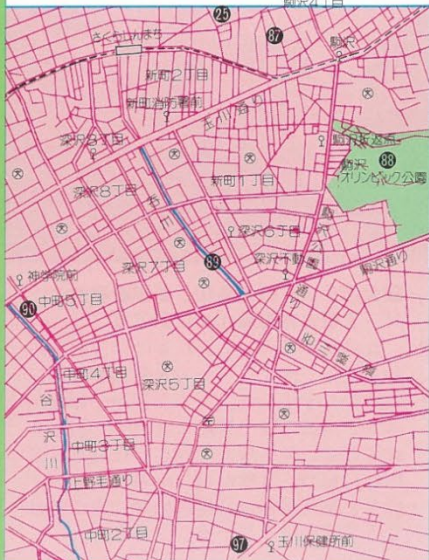
⑨桜並木の香川と緑道●深沢1丁目~8丁目
香川の下水道化のために川の上をふさぎ緑道化した。駒沢通りから上流はまだ川の流が見える。川の流に沿って桜並木があり、玉川通りまで続いている。遊歩道になった神明橋から下山橋にも桜並木が見られるが、これは川の土手の両側に植えられた桜がそのまま残ったもの。川の土手沿いの桜はかつて世田谷の春の風物詩だったが、今は区内各所で緑道沿いの桜と変わって世田谷に春の訪れを告げる。



⑩駒沢オリンピック公園●駒沢公園●TEL 421-6121●新玉川線駒沢大学駅下車
東京オリンピックの第二会場として整備され、オリンピック終了後は都の総合運動場となっている。緑に囲まれた公園で、中央広場には、五重塔を幾重にも重ねたような記念塔がそびえ、その周りに屋内体育館、陸上競技場がある。多くのスポーツ施設が整い、緑に包まれた休養地や児童遊園もある。家族そろって楽しめる憩いの場だ。



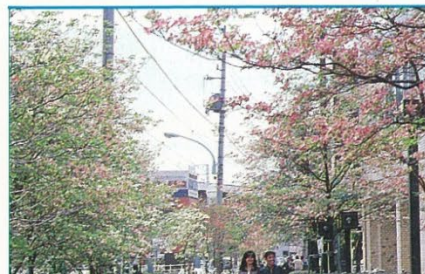
⑪駒沢緑泉公園●駒沢3-19●TEL 410-7386●東急バス新町1丁目下車
人工芝と噴水と緑の公園、樹林園には落葉樹、常緑樹、灌木などが植えられた丘や川がつづく。素足の子ども達が小川の流れに入って遊び、幼い子は人工芝の上をのびのびとかけまわる。都市生活に欠かせないものとして公園空間はある。



⑫上野毛五島美術館●上野毛3-9-25付近●TEL 703-0661●大井町線上野毛駅下車
実業家として知られている故五島慶太氏が50年間にわたり収集した古美術品が収蔵展示されている。美術館の建物は美しい和風建築で、崖線の斜面に広がる自然のままの庭園に野仏を配している。美術鑑賞のあとの散策に四季それぞれの趣きを見つけることができる。



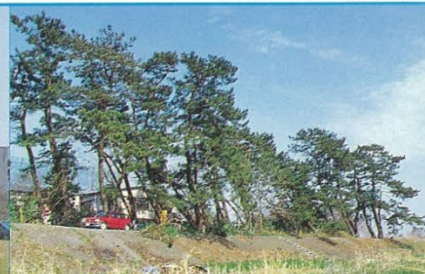
⑬谷沢川桜と柳の堤●用賀1丁目~中町5丁目
川沿いの桜が途切れると柳がつづく。悲劇の伝説をもった「姫の滝」もあり、下流は等々力溪谷へと達する。地元の人たちのいき届いた手入れが光る。まちなかのコミュニティ景観だ。



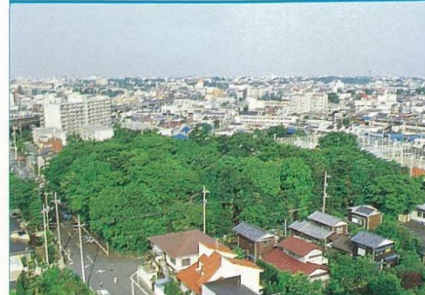
⑭はなみずき並木の二子玉川界わい●玉川3丁目玉川通り周辺●新玉川線二子玉川園駅下車
まちなかのシンボルとなっている並木道。地元の熱意が作りだした景観だ。桜の花の終わるころ、ハナミズキの赤い花が咲き始める。五月に花みず木フェスティバルも行なわれ、まちに初夏の到来を告げる。



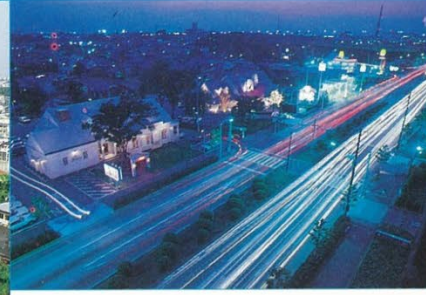
⑮多摩川土手の桜●玉川1丁目~野毛3丁目玉堤通り沿い●東急バス明神池前下車
東京で最も早く咲く桜として知られる。ありあまる春の光を全身に浴びるからだろうか。風に散る満開の桜が川辺に広がるタンポポのじゅうたんと一緒に多摩川堤ののどかな春の風景をかたちづくる。



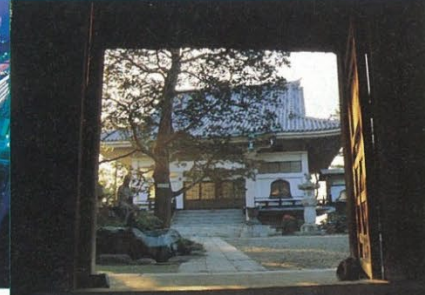
⑯多摩川沿いの松林●玉川1-1付近●新玉川線二子玉川園駅下車
黒松の林は多摩川の堤に伸びる代表的な風景だったが、今はもうこのあたりを残すのみとなった。川風に吹かれる松籟が風流人たちを川辺に誘い、川魚の料亭が軒を連ねていたという。現在も料亭が一軒残っており、松林とともに当時の面影をとどめる。



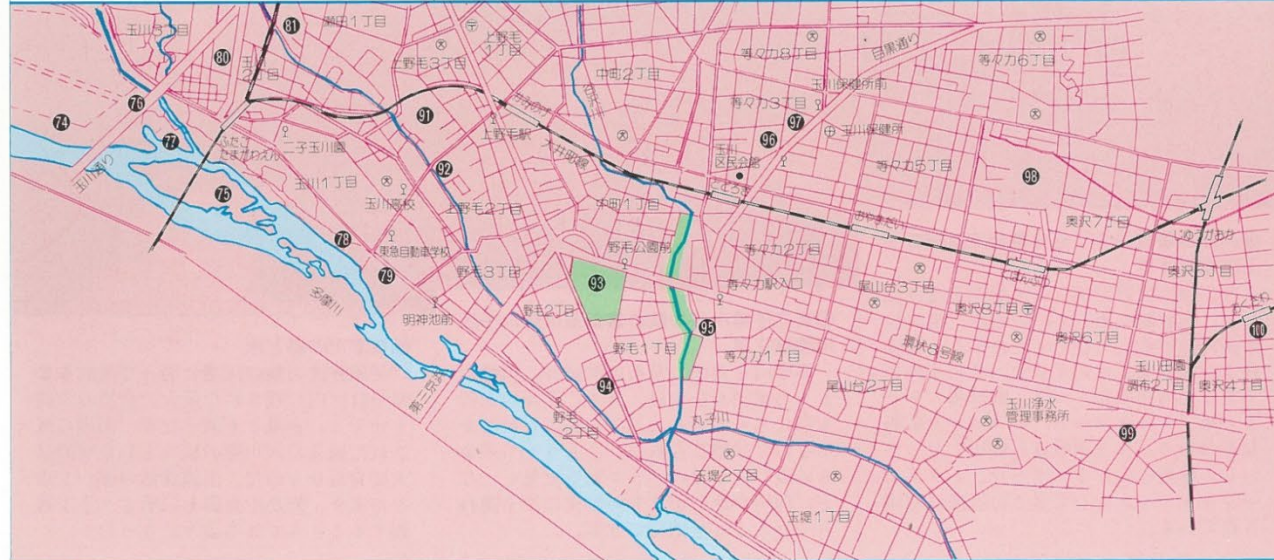
⑰玉川台自然観察の森●玉川台2-30●東急バス玉川病院入口下車
環八沿いのビルの裏手にこんもりと緑の盛り上がった森がある。ここは密生した植物とともに昆虫や小鳥が共生している自然空間となっている。過密な都市の中に生きているこうした自然のスペースを大切にしたいものだ。



⑱環八アメリカ村●東名高速入口付近●東急バス玉川病院入口下車
アーリーアメリカンスタイルの白い建物のレストラン群や住宅展示場が立ち並んでいる一角。誰いうともなくアメリカ村と呼ばれている。車社会に忽然と出現した都市の新しい名所だ。週末には湘南海岸へ行く若いサーファーや家族連れで賑わう。



⑲瀬田の行善寺と行善寺坂●瀬田1-12-23付近●新玉川線二子玉川園駅下車
急勾配の行善寺坂を登りきったところに行善寺がある。昔、寺の境内からは多摩川の眺望が開け、行善寺八景とうたわれた。行善寺坂はもと大古道の一部だった道で、この街道は八十八坂七曲りといわれるほど起伏の多い地形を通過していた。





せたがや百景

企画制作 ● 世田谷区企画部都市デザイン室
 田中勇輔・峯田政和・齋藤啓子
 企画協力 ● 中村良夫(東京工業大学教授)
 編集協力 ● 株式会社ジエー・アイ・シー・シー
 文 ● 孝寿聡・畑好秀 / 写真 ● 菊川康男 / デザイン ● 小川和男
 写真提供 ● 柳下信次さん・佐々木道子さん・黒崎茂さん
 若い根っここの会・東京農業大学父兄会・下高戸商店街振興組合
 資料提供 ● 森茂美さん・長谷川幸司さん・早川いとさん・土屋文代さん・磯川美江子さん
 発行日 ● 平成三年三月三〇日 第三刷
 発行 ● 世田谷区企画部都市デザイン室
 〒154東京都世田谷区世田谷四二二二七
 TEL03-3422-1111(代)
 印刷 ● 図書印刷株式会社
 頒 価 ● 五〇〇円



④野毛の善養寺と六所神社 ● 野毛2-7-11(善養寺)、2-14-2(六所神社) ● 東急バス野毛2丁目下車

善養寺の境内には、都の天然記念物に指定されている高さ22.6メートル、幹回り5.25メートル、樹齢六百年を越えるカヤの巨木が株を広げている。雌株で一年おきに実を結び、実のたわわな枝を手にとれる。巨木そのものが風景になっているといつてよい。六所神社では夏の大祭に、みこしを多摩川の中にかつぎ入れ、水神祭りを繰りひろげる。



⑥玉川野毛町公園 ● 野毛1-25 ● TEL 704-4972 ● 東急バス野毛公園前下車

公園内に直径66メートル、高さ9メートルの野毛大塚古墳がある。小高い丘とも見えるこの円墳は現在都の史跡に指定されている。プール、野球場、テニスコート、遊び場などが設けられ、スポーツと憩いの場となっている公園だ。



⑧上野毛自然公園 ● 上野毛2-17 ● 大井町線上野毛駅下車

崖線の斜面を利用した公園で、木々の間を縫うように階段が上へ伸びている。斜面をおおう深い緑は野趣に富んでおり、台地から多摩川沿いの低地にかけてできた崖の植物相を観察できる。階段を登りきると桜の林が広がっている。



⑨等々力の玉川神社とその周辺 ● 等々力3-27-7付近 ● 大井町線等々力駅下車

吉良頼康の創建と伝えられ、玉川村の鎮守として付近の人々に親しまれてきた。境内には昭和初期に着手された耕地整理の記念碑とその功労者の碑が建てられている。玉川地区の現在のような整然とした道路と宅地ができあがったのは、この耕地整理事業による。昭和19年に整地工事は完成した。



⑩等々力の満願寺 ● 等々力3-15-1 ● 大井町線等々力駅下車

吉良氏によって創建された寺で、等々力不動はこの寺の別院である。境内の建物は新しいが、整った荘厳さを持っており、身がひきしまる 柳沢吉保に仕えた学者細井広沢の墓があり、国の史跡に指定されている。



⑪等々力溪谷と等々力不動 ● 等々力1-21-39 ● 大井町線等々力駅下車

境内からは、児童公園などに植えられた二百本の桜が見下ろせる。本堂横の石段を降りていくと、途中に小さな祠があり、役の行者が祀られている。石段の上には、不動の滝が落ちており、等々力の地名はこの滝の音の轟くところから起こったともいわれる。こんもりと木々の茂るこのあたりは等々力溪谷と呼ばれ、都内とは思えぬ自然の景観を持っている。



⑫奥沢駅前の広場 ● 奥沢3-47 ● 目蒲線奥沢駅下車

目蒲線奥沢駅は区内でもっとも整備された駅前広場を持つ。緑と噴水は乗降客を慰めるばかりでなく、まちの人々の憩いの場ともなる。区内には多数の私鉄駅があるが、駅前はそのまちの玄関、ゆとりを作る工夫がほしい。



⑬田園調布のいちょう並木 ● 玉川田園調布一丁目 ● 東横線田園調布駅下車

田園調布駅に至るイチョウ並木はがっしりとたくましく、繁雑なバスの往來をものともしない。戦前の田園調布開発に際して植えられたものが成長した並木だが、良好な住宅地を形成するためには長期的な計画が欠かせないことの一つの証左になっている。



⑭お面かぶりの九品仏と参道 ● 奥沢7-41-3 ● 大井町線九品仏駅下車

九品仏浄真寺といわれるのは、阿彌陀如来像を三休ずつ三つのお堂に納めた三仏堂からきている。三年ごとの「お面かぶり」は都の郷土芸能に区内唯一指定されている。長い参道の向こうに見える茅作りの総門、常盤伝説に由来するさぎ草園など見所が多い。奥沢城址に建てられた寺で寺域に土塁が残っている。